

みなみのひろば

MINAMI no HIROBA

<発行>

南地区コミュニティ・南公民館

連絡先 36 -7341

令和2年7月20日 第437号

繰り返される豪雨災害・・・「新しい生活様式」を踏まえた防災対策の検討を



梅雨明けの待ち遠しい季節になりました。今年は、気省庁から6月11日に梅雨入りが発表されて以降、毎日のように雨が降り続く、まさに“当たり年”のような天候でした。また、つい先日には、九州地方を中心に今年も再び集中豪雨が襲い、『令和2年7月豪雨』と名付けられたこの未曾有の大災害では、70人を超える尊い命が奪われ、多くの方が住宅や財産を失いました。改めて、被災された皆さんにお見舞いを申し上げます。ここで特筆すべきは、この災害で亡くなった方の大部分が高齢者であったということ。災害時における避難行動要支援者の支援体制の整備は、まさに地域の役割であり、幸いにして大きな被害を受けなかった私たちの地域にお

いても、これを対岸の火事と達観することなく、災害に対する日頃からの備えをしっかりと進めていく必要があることを実感させられました。自主防災を更に進めていきましょう。

また、被災地では、家を失った多くの被災者が避難生活を余儀なくされており、新型コロナウイルス禍の中、感染拡大の心配と向き合いながらの毎日は大変な苦労があるものと思います。「新しい生活様式」を踏まえた避難所での生活や復旧作業・・・課題もたくさんありますが、私たちも万一のために訓練などの準備を怠らないようにしたいものです。

ところで、今月22日は二十四節気のひとつ「大暑」です。いわば、一年で最も暑くなる季節ですが、今年も梅雨明け早々から厳しい猛暑の到来が予想されています。

皆さんの日常生活では、引き続き「新しい生活様式」の実践により新型コロナウイルスの感染防止に十分注意をしながら、熱中症対策にも気を付ける必要がでてきます。周囲に気を配りながらマスクを外す機会を設け、室内では冷房を活用しながら十分な換気を行い、こまめな水分補給を心掛けましょう。

とにかく、自身の健康管理に十分注意して、心身ともに元気に毎日をお過ごしいただきたいと思います。

地域活動や公民館事業も徐々に再開しています。現状ではソーシャルディスタンスを保つことが求められていますが、人と人との心の距離を離さないよう、できる範囲で少しずつ、住民同士の交流事業も再開していきたいですね。



自治会が一番身近な社会保障

今年は、新型コロナウイルスの影響で、年度初めから大部分の自治会活動が自粛されています。多くの皆さんが楽しみにしていた行事などが中止となり、住民相互の交流を深める機会が減ってしまいました。

このような状況の中、自治会に対する皆さんの受け止め方も様々なものがあるでしょう。交流事業がなくなってしまい人と話す機会や仲間づくりをする機会が減ってしまった人、その一方で行事などがなくなったことで自分の時間が増えたと感じる人…。一人ひとりが自治会の必要性などを考え直すきっかけになったかもしれません。

しかし、「事業がなくても実際何も困らなかったから、自治会はいらない」といった極論に結びつけるようなことはどうかしないでください。小中学校が再開し、子どもたちの安全を

シリーズ「自治会について考えてみる」

守るための活動が地域の皆さんの協力で大きな問題もなく実施され、また、活動自粛中であっても常に役員などが高齢者の様子を見守ることを続けています。子どもや高齢者を守ることは地域にとって当たり前と考えがちですが、そこには守る側の奉仕の心が欠かせません。この「困ったときの助け合い」が自治会の基本であると考えます。行政が個人個人の困りごとの全てに応えることは困難です。そこで頼りになるのは、同じ地域に住む人々なのではないでしょうか。自治会に加入するメリット、それは、万一日常生活で困りごとができた場合に気軽に相談ができ、助けてもらえること。そのため、日頃から交流を深め、万一のときに円滑に協力し合える関係性を維持することが必要であり、自治会の色々な行事は、そのために行っているのだと考えたらわかりやすいでしょう。普段の生活ではあまり重要性を感じなくても、いざ困りごとができたときに頼りになる組織、まさに自治会が一番身近な社会保障なのではないでしょうか。これからもみんなで考えていきましょう、自治会のこと。





南地区コミュニティからのお知らせ



●令和2年度定期総会（コロナ対策による特例開催）結果について

今年度は、新型コロナ感染拡大防止のため、やむを得ず定期総会の開催を見送り、総会資料の班回覧をもって各議案の提案に代えさせていただきました。その結果、各議案に対する反対意見や質問などが提出されなかったことから、令和2年度の提出議案については全て承認をいただいたものとして取り扱うことといたします。

なお、その後の感染防止対策の実施等により、承認をいただいた事業計画や予算などに修正を加える必要が生じていますので、追って役員会などで協議を行い対応してまいりたいと考えております。皆様の御理解をよろしくお願いいたします。

●令和2年度本会役員について

総会議案の承認をいただいたことで、令和2年度のコミュニティ本会役員が次のとおり決定しました。今年度は様々な課題を抱えてのコミュニティ活動となりますが、御協力をよろしくお願いいたします。

令和2年度本会役員

- 【会 長】佐藤 忠 【副会長】奥村上 博・関谷括実・小池一清
- 【理 事】遠藤優美・鈴木和宏・森島恵二・平山まり子・小池順一・
小野寺英雄・藤田和則・佐々木 健・渡部清美
- 【主任会計】茂田井令子 【会 計】佐山 修・山崎尚之
- 【監 事】林 敏勝・宮下喜代司・井上元二
- 【部 長】石動秀樹・溝永久江・磯 春夫・又地隆雄



▲7/10の拡大執行部会のようす。出席役員がソーシャルディスタンスを保ちながら、「新しい生活様式」にのっとり会議を行いました。

※会長委嘱【事務局長】岡田耕男 【副事務局長】山崎富雄・竹田 昇

●令和2年度活動方針について

令和2年度のコミュニティ活動は、新型コロナ感染拡大防止を最優先として、市が示すガイドラインに沿いながら、“できる事業を可能な限り実施する”ことを基本方針として実施してまいります。一方で、参加者の把握が困難な行事や、会場の規模を超える多数の参加が見込まれる行事などは、誠に残念ですが今年度は実施を見送ります。

●今後の事業計画について

去る7月10日に開催した拡大執行部会での協議の結果、南地区の恒例行事である「コミュニティまつり」については、十分な感染防止対策をとることが極めて難しく、来場者の安全確保が図れないとの判断から、今年度の開催を中止することといたしました。楽しみにしていた方も多いと思いますが、何とぞ御理解くださいますようお願いいたします。なお、盆踊り大会、コミュニティまつりといった大きなイベントを中止することで地域の皆さんが交流する場を著しく減少させないよう、今年度はコロナ対策に十分な配慮をしながら、各部の主催事業を中心とした小規模の教室やイベントの開催を増やし、少しでも多くの方に参加していただける機会を設けてまいりたいと考えます。



公民館でメダカが産まれました

7月9日に、公民館ロビーの水槽で飼育しているメダカが産卵しているのが確認され、卵を別の水槽に移して観察していたところ、14日になって10匹以上の赤ちゃんが誕生していることがわかりました。現在、体長はまだ2～3mm程度ですが、大きく成長するまで大切に育てていきたいと思っております。皆さんも来館の際には、是非優しく観察してください。

小中学生の皆さんは、もうすぐ楽しい夏休みですね。今年は期間が短いので、計画的に毎日をご過ごす心がけましょう！
新型コロナと熱中症には十分注意してね。



●●当面の南コミ・公民館行事等予定●●

感染防止に注意しながら少しずつ事業を再開します

7月23日(木)	● 海の日	公民館休館日
7月24日(金)	● スポーツの日	公民館休館日
7月26日(日)	グラウンド除草作業	6:00～ 担当:二区町・二つ室
	親王台清掃作業	南コミ地域振興部事業
8月 8日(土)	小中学校夏季休業	8月18日まで
8月21日(金)	すずらん学級①	(※)電気安全講習会
8月22日(土)	つばめのこ①	(※)親子木工教室(家教共催)
8月23日(日)	グラウンド除草作業	6:00～ 担当:一区町
	親王台清掃作業	南コミ地域振興部事業

(※)学級生の皆さんには、追って個別に御案内を差し上げます。

